

私たち一人一人に できること

災害時に必要な男性の力

災害時に欠かせない女性の支え

守りたいものがあるから

今、防災力が必要な理由

私たちの地域は現在、東海・東南海・南海地震の発生が懸念されています。

南海トラフでは、東海、東南海、南海の3つの地震が90〜150年の間隔で繰り返し発生してきました。さらにこの3つの地震は、同時または連動して発生する特徴があります。その場合、震源域は駿河湾から足摺岬付近までの600km以上にも及び、エネルギーはM8.4〜8.7にもなると言われています。つまり、東日本大震災ク

ラス、もしくはそれ以上の巨大地震が起こる可能性は否定できない状況にあるのです。

これが、本町をはじめとする多くの自治体が防災に力を入れる理由です。

東日本大震災では、巨大津波が一瞬のうちに全てをのみこんでしまいました。そのような状況が自分の身に起こったら。家族を失って一人になってしまったら。

今、私たちの暮らしにそのような事態が起こっていないのは偶然です。それは明日発生するかもしれない。

Interview

消防団長の夫を支える

水野 鈴子さん

みずの・すずこ 出目



主人は消防一筋で、現在は団長という責任ある仕事を任されています。夜中や休日でも何かあればすぐに出勤しなければなりません。私はその活動が気兼ねなくできるような支えようと心掛けています。

サイレンがなったときは身支度を手伝いますし、家に帰ってくるまで起きて待っています。子どもたちが小さいころもよく出勤していましたが、「家は私が守る」という使命感を持っていました。

当たり前のことをしているだけなんですけどね。それでも主人が地域の安全を守る仕事が円滑にできればと思っています。

Interview

十分な備えで子どもを守る

大野 亜矢子さん

おおの・あやこ 近永

私は東南海・南海地震に相当の危機感を感じており、早急な備えが必要だと思っています。昨年、鬼北消防署が主催する救急救命のイベントに参加しました。養護教諭という仕事柄、AEDの使い方や心肺蘇生法などは知っていましたが、何か得るものがあるかもしれないと思ったからです。そのイベントには子どもたちも一緒に参加しました。わからなくても何かあった時に、もしかしたら役に立つかもしれないですね。

今後は子どもたちも含めて地震が起こった時の対応などを家族で話し合いたいと思っています。一番大切な子どもたちを守りたいから。

